

Information 11

もう冬本番*今回は冬場に気を付けたいオシッコに関するお話♪
下部尿路疾患を、男の子と女の子で特に多い症例を紹介します。

まず、**オシッコ**が出来るまで!!

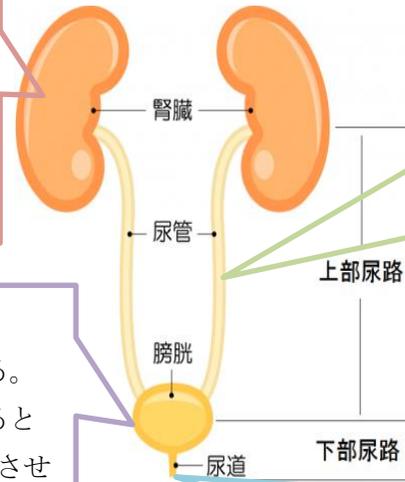
① 食事からの栄養素や水分は、小腸で吸収された後、血液に混ざり全身を巡り、体内の細胞へ運ばれる。その後不要なものは、腎臓に集められる。

②集められた老廃物は、腎臓でオシッコの原料に。体に**不要**と判断された物は、尿として尿管へ。

③腎臓で作られたオシッコを膀胱まで運ぶ**非常に細い管**。尿管の筋肉運動で膀胱に運ばれる。

④膀胱は**内側が粘膜**、**周囲は筋肉**で作られている。オシッコをある程度溜めると脳に指令を送り尿意を感じさせ**尿道括約筋**が開くことで尿道へ送られる。

⑤尿道はオシッコの**通り道**で生殖器と密接。生殖器が炎症を起こすと、尿道も影響を受け**排尿に影響**が出る場合も。



こんなの**尿**していませんか？

- 薄いオシッコ
- 濃いオシッコ



低：様子見て続いたら病院へ!

- 甘いにおいのオシッコ
- 膿臭い・すっぱい
- キラキラしたオシッコ



中：糖尿病や結石リスクあり!!

- オシッコが出ない



高：様子みないで即病院へ!!!!

危険レベル

要注意!!すべき代表的な疾患

男の子



尿道閉塞

尿結石が尿道に詰まる病気。
特にオス猫に多く診られ
命を落とす危険性が高い。

オス猫は尿道が細長くカーブしているため詰まりやすいと言われ、結石は細菌性膀胱炎などが原因で形成される。
また冬場は気温が下がり、運動量・飲水量が減りオシッコを濃縮することで結晶ができやすくなる。
症状：食欲減退・嘔吐・1回の尿量が減る・生殖器周りを舐める
血尿・長時間の排尿姿勢・ぼたぼた垂れる etc...

膀胱炎

主に尿道から入った**細菌**が膀胱で炎症を起こす病気。
特にメスに多く診られる。

女の子



メスはオスよりも、比較して尿道が太く・排尿姿勢も屈むことが多いため細菌の侵入を容易に許してしまうと考えられる。
細菌以外にも原因が!!ストレスや結石で膀胱粘膜を傷つけてしまう場合も。
症状：血尿・尿が濃い・濁っている・臭いがキツイ・発熱・食欲不振
水をたくさん飲む・排尿回数が多い・元気消失 etc...

オシッコは多くの臓器が働き合ってできます。
オシッコ・ウンチは毎日するもの。
その子の体調が分かる大切なサインを見逃さないで!!

